

第2回 中津港港湾脱炭素化推進協議会

日時：令和7年10月16日（木）10:00～12:00

場所：大分県中津総合庁舎 3階 大会議室

議事次第

1 開 会

2 議 事

- （1） 中津港港湾脱炭素化推進協議会規約の改定について
- （2） 第1回中津港港湾脱炭素化推進協議会の振り返り
- （3） 中津港港湾脱炭素化推進計画の基本的事項
- （4） アンケート等調査結果
- （5） 中津港港湾脱炭素化推進計画の基本方針
- （6） 今後の取組について

3 閉 会

第2回 中津港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

日 時：令和7年10月16日（木） 10時00分～12時00分

場 所：大分県中津総合庁舎 3階 大会議室

開催形式：対面・Web

【議事概要】

議事(1)：中津港港湾脱炭素化推進協議会規約の改定について

事務局より、構成員の追加・名称変更について説明し、承認いただいた。

議事(2)：第1回中津港港湾脱炭素化推進協議会の振り返り

事務局より、第1回中津港港湾脱炭素化推進協議会の主な議事等について説明。

議事(3)：中津港港湾脱炭素化推進計画の基本的事項（別紙1）

事務局より、計画期間・目標年次を短期2030年、中期2040年、長期2050年に設定すること、対象範囲を既設の土地の内、港湾計画によって土地利用計画が定められている区域を主として設定することを説明し、了解をいただいた。

議事(4)：アンケート等調査結果

事務局より、アンケート調査結果の概要と結果を説明。アンケート調査結果により、中津港では、脱炭素化に関する目標値や取組方針を設けている事業者と設けていない事業者で二分されていること等を説明。

議事(5)：中津港港湾脱炭素化推進計画の基本方針（別紙2）

事務局より、CNP形成にあたり、中津港の特徴等を考慮し、目指すべき将来像「①ターミナル立地企業と連携した脱炭素化への取組を推進し、脱炭素社会の実現に貢献」、「②港湾の脱炭素化・高度化を実現し、港湾利用者の脱炭素化に貢献」と、それぞれに向けた取組方針「①港湾立地企業のサプライチェーン全体における脱炭素化への取組を推進」、「②公共ターミナル等における次世代エネルギーの活用や港湾機能の高度化」を説明し、了解をいただいた。

議事(6)：今後の取組について

事務局より、第3回の協議会での検討事項を説明し、アンケートやヒアリングへの協力依頼を行った。

○計画期間、目標年次

短期目標：2030年度、中期目標：2040年度、
長期目標：2050年度

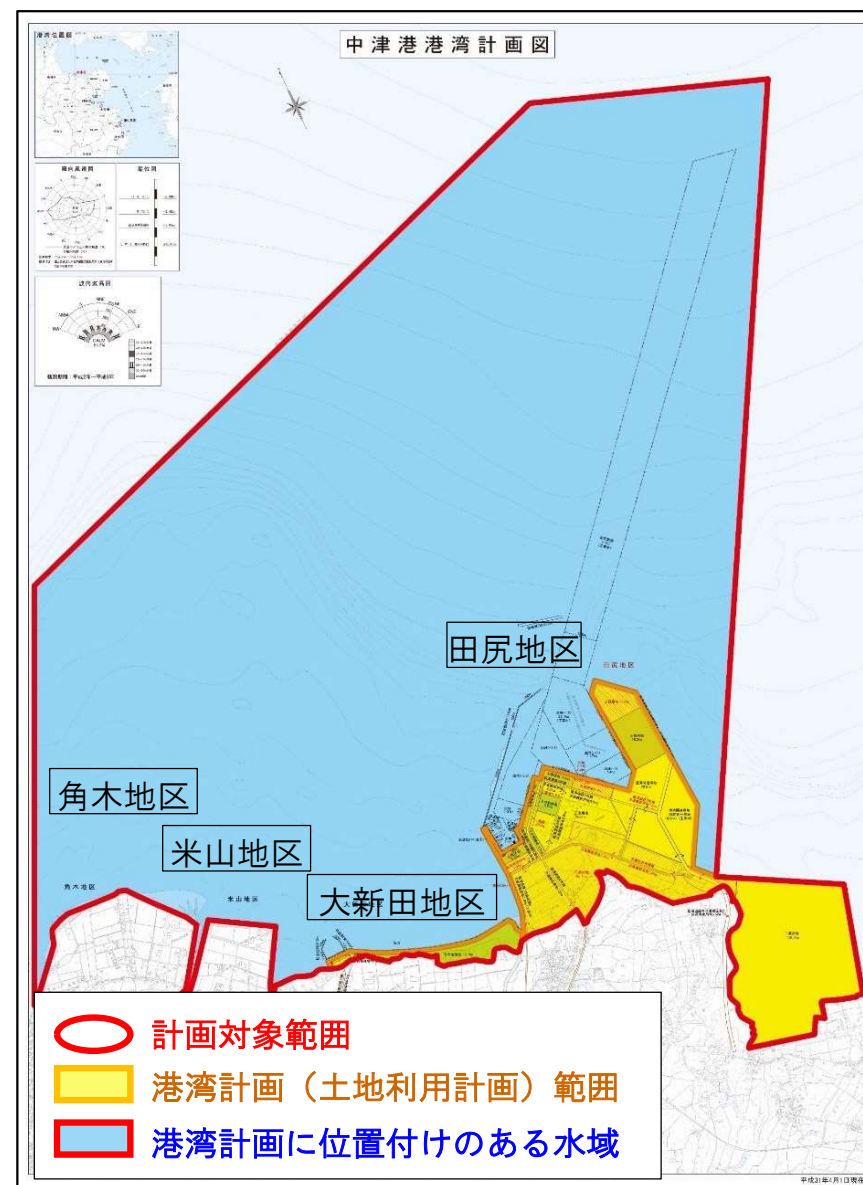
○対象範囲

- ・ 公共ターミナルのみで専用ターミナルがない
- ・ 港湾計画において土地利用が定められている区域外に立地している企業の港湾利用はない



海域：港湾区域

陸域：港湾計画において土地利用が定められている区域



目指すべき将来像①

ターミナル立地企業と連携した脱炭素化への取組を推進し、脱炭素社会の実現に貢献

目指すべき将来像①のための取組方針

①港湾立地企業のサプライチェーン全体における脱炭素化への取組を推進

- ・ 再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入促進
- ・ 管理棟・照明施設のLED化等による省エネルギー化の推進
- ・ 多様な分野での次世代エネルギー（水素・バイオ燃料等）の利用を検討

目指すべき将来像②

港湾の脱炭素化・高度化を実現し、港湾利用者の脱炭素化に貢献

目指すべき将来像②のための取組方針

②公共ターミナル等における次世代エネルギーの活用や港湾機能の高度化

- ・ 荷役機械の省エネ化・電動化・FC化の推進
- ・ 本港を出入りする車両の低炭素化・脱炭素化を推進
- ・ 停泊中の船舶への電力・次世代エネルギー燃料供給等の検討
- ・ 次世代エネルギー（水素等）の調達方法等の検討